



実験を通して楽しみながら学べる場所をつくるビジネスプランを発表する受講者

磨いた新事業案 上田で女性披露

趣味や特技活用「創業スクール」全日程終了

上田市の産学官連携支援施設「AREC(エーレック)」や上田商工会議所などが、女性の創業支援を目的に開いた「創業スクール」が27日、最終日を迎えた。市内外の女性約60人が受講。修了式で、自分の特技や趣味を生かして考えたエッセイ、ペーパーマジック教室といったビジネスプランを発表した。

スクールは8月に始まり、全10回。中小企業診断士や税理士を講師に、ビジネスプランの作り方やマーケティング、会計の基礎など、創業する上で必要な知識を学んできた。市内で開いた修了式では、講座を8割以上出席した参加者に修了証が贈られた。

県内の小中学校で理科を教えていた中沢雅子さん(37)は実験を通して楽しみながら学べる場所をつくりたいと講座

に参加。「プレゼン(提案説明)の方法や経理、納税について」の授業が勉強になった」と話した。

講座はARECと市、上田商議所、市内で coworking スペースを運営する一般社団法人「ループサンパチ」が2014年に構築した「創業支援プラットフォーム」が主催。15年度、上田商議所に創業について相談に訪れた女性が前年度の約2倍の30人になったのを機に、女性対象の創業支援をすることにした。

創業後も、中小企業診断士や先輩の創業者に相談できる機会を設けて支援を続ける。事務局の尾島彩さん(31)は「こんなに大勢が参加するとは思わなかった。創業支援だけが目標」と今後の活動の重要性を話していた。